

放射線科

■ 診療科長 平井 俊範

■ 研修実施担当者 寺田 珠沙



教育施設として認定を受けている学会

日本医学放射線学会専門医総合修練機関、日本 IVR 学会専門医修練認定施設、
日本核医学会専門医教育病院

診療科の概要

放射線科は宮崎大学附属病院で行われる画像診断、核医学、IVR および放射線治療を受け持っており、これらの施行および報告書作成を行っている。

画像診断は、ほぼ全診療科の日常業務の方向性およびレベルを決定する上で重要な役割を果た

しており医局員は画像診断の専門家としての責任を意識しつつ仕事をしている。

部位および手段別に神経放射線、胸部放射線、腹部、IVR、核医学、放射線治療部門に分かれておりそれぞれ高い専門性で診断および治療を行っている。

研修症例の特徴

研修医は診断・治療グループの中から、希望にも応じながら、研修を進める。内容は、診断グループでは検査の施行と報告書作成を主とし、治療では治療計画および治療の実行などとなる。

病棟主治医として担当する症例は甲状腺がんの I-131 内用療法、IVR、CT 下肺生検、放射線治療患者等である。

研修目標

【一般目標 (GIO)】

日常の患者のマネジメントに必須の画像診断や放射線治療の原理および特徴について理解し、身体の部位別に臨床への応用等について修得

する。

また、それぞれの診断・治療手技にともなう有害事象についてもその対策を含めて理解する。

【個別行動目標 (SB0s)】

- **神経放射線**：中枢神経（脳、脊髄）、頭頸部、骨・軟部組織領域の画像診断を中心として、画像解剖や画像診断法の基礎（特に MRI）を理解し、読影のプロセスや重要な疾患・病態の画像所見を習得する。
- **胸部放射線**：日々の症例や teaching file を通じて画像所見の成り立ちを理解するとともに、病態を踏まえた読影力の向上に努め、基礎的な胸部画像診断の技術を習得する。
- **腹部放射線**：消化器、泌尿生殖器および後腹膜領域の画像解剖や、画像診断法の基礎を理解し様々の疾患や病態の画像所見について修得する。
- **Interventional Radiology**：1) IVR の適応を説明できる。 2) セルジンガー法、ガイドワイヤー・カテーテルの基本操作が行える。 3) 救急対応時の行動（画像検査の必要性・適応・検査・画像診断、IVR の適応）を身につける。 4) 他診療科医師との連携ができる。
- **核医学**：PET 画像等の核医学画像診断およびヨード治療を含む核医学治療に関する基礎知識を習得する。

- **放射線治療**：1) 治療計画における標的体積 (GTV/CTV/PTV) についての理解、リスク臓器についての理解。 2) 治療効果と有害事情のバランスをとった投与線量についての理解。 3) 治療部位等に応じた照射方法の違いについてなどを理解、習得した上で実際の治療計画を作成する。また、放射線治療に伴う有害事象やその対応方法について理解する。ICに同席等を含め、実症例に触れ、がん診療における放射線治療の果たす役割について理解を深める。

研修方略

【指導医および指導体制】

画像診断および放射線治療の基本原則を理解する事を目標としている。

画像診断の正常解剖、様々な病変の画像診断上の現れ方を理解することも重要である。

血管造影 IVR では極力検査や治療に参加し、画像診断報告書作成においては割り当てられた症例の報告書を各自作成し、後に指導医とともに review することで理解を深める。

【勉強会やカンファレンスなどの研修教育活動】

院内・画像診断カンファレンス (1回/週 (火曜))

神経放射線病理カンファレンス (1回/週)

HCC カンファレンス (1回/月)

外科カンファレンス (2回/月)

呼吸器カンファレンス (1回/週 (月曜))

放射線治療カンファレンス (1回/週 (月曜))

頭頸部外科カンファレンス (2回/月 (月曜))

救急画像カンファレンス (1回/週 (水曜))

神経内科カンファレンス (1回/月 (月曜))

院外

宮崎画像医学研究会

宮崎 CT 研究会

宮崎 MRI 研究会

宮崎 IVR 研究会

宮崎核医学研究会

宮崎放射線治療研究会 などを開催し、これらの研究会での発表を行う

【週間スケジュール例】

	全般型 の一例		IVR 重視型 の一例	
	午前	午後	午前	午後
月	AG/IVR	CT 検査/胸部読影	AG/IVR	MRI 検査/胸部読影
火	CT 検査/腹部読影	MRI 検番/腹部読影	MRI 検査/胸部読影	CT 検査/胸部読影
		画像診断カンファレンス		画像診断カンファレンス
水	放射線治療	放射線治療	AG/IVR	CT 検査/腹部読影
木	MR 検査/神経読影	医局会・カンファレンス・回診	AG/IVR	医局会・カンファレンス・回診
金	AG/IVR	核医学検査・読影	AG/IVR	MRI 検査/腹部読影

研修評価

- オンライン卒後臨床研修評価システム (EPOC) による研修実施内容の評価 (観察記録)

指導医・先輩医師からのメッセージ

医療全域で、放射線診療はますます欠くことができないものとなっています。またそれを統括的に扱う放射線科の診療範囲は非常に広く、深くな

っています。実際に経験してみると、視野が広がり、新たな興味にも出会えるものと思います。是非、放射線科を体験してください。